

2026年4月15日
オリックス資源循環株式会社

埼玉県・寄居町・小川町・地元環境協議会と エネルギーレジリエンス向上に向けた連携協定を締結 ～大規模災害に備え、地域のエネルギー供給体制を強化～

オリックス資源循環株式会社（本社：埼玉県大里郡寄居町、社長：大内 雅雄）は、このたび、埼玉県、寄居町、小川町および寄居町連合環境協議会とともに、「彩の国資源循環工場のエネルギーを活用したレジリエンス向上に関する連携協定」（以下、「本協定」）を締結しましたので、お知らせします。

本協定は、大規模災害発生時に、当社が運営する再資源化施設「寄居工場」を含む「彩の国資源循環工場」敷地内の各事業者が保有する再生可能エネルギーや非常用発電設備等を活用し、地域の避難所等へ電力・燃料を供給する体制の整備を目的とするものです。また、平時のエネルギー有効活用についても、当社を含めた関係者が連携して検討することで、地域全体の持続的なエネルギーレジリエンス向上を図ります。

寄居工場は、廃棄物を高温でガス化・熔融することで無害化・再資源化すると同時に、そのエネルギーを効率的に電力へ変換する大規模リサイクル発電施設です。本協定を契機に、廃棄物の安定処理に加え、エネルギー供給面での災害対応力向上に寄与してまいります。

今後もオリックス資源循環は、国・地方自治体、事業者、地域住民との連携を強化し、持続可能で強靱な地域づくりと循環型社会の形成に貢献してまいります。



左から、寄居町連合環境協議会 会長 原口 孝、寄居町長 峯岸 克明、
オリックス資源循環 取締役 兼 執行役員会長 有元 健太郎、埼玉県知事 大野 元裕、
オリックス資源循環 代表取締役 兼 執行役員社長 大内 雅雄、小川町長 島田 康弘

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 TEL：03-3435-3167